

科目名 (英語表記)	建築実務実習 (Practice of architectural design and construction)					ポートフォリオ	
学年・学科	1年・建築学専攻		単位・期間	必修2単位・前期夏季休暇中(合計90時間)			<学生が記入する上での注意事項>
担当教員 (※は今年度受け持ち学生がいることを示す)	加藤巨邦* 小原聡司 中村裕文 山本 剛* 大岡 優* 杉本 弘文 浅野浩平*		連絡先	建築学科棟2階第6研究室 建築学科棟2階第7研究室 建築学科棟2階第2研究室 建築学科棟2階第5研究室 建築学科棟2階第1研究室 建築学科棟2階第4研究室 建築学科棟3階第10研究室	オフィス ア ワ ー	月曜日8限目	【授業計画の説明】 枠内に○か×かを記入すること。 【理解の度合】(記入例)ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。 【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。(記入例)ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。
【授業目的】	設計事務所や総合建設業、大学等における実習を通して、より実践的で現実的な技術を体験させると同時に、専門的知識や技術の重要性を再認識させ、その後の専攻科での学習研究生活の糧となることを目標とする。						
【履修上の注意】	実習は夏期休業中の適当な期間に実施し、実務実習において学習した事柄は報告書としてまとめ、担当教員へ提出する。報告書作成用に写真を撮影したり、資料を利用することがあるので、記録および情報の公開に関して研修先の了解を要する。						【総合達成度】では、【達成目標】どおりに目標を達成することができたかどうか、記入してください。
【事前に行う準備学習や自己学習】	実務実習のプログラムを確認し、関連する技術・業務について準備学習すること。事後学習として、実習内容報告書を作成・提出すること。						ルーブリック評価の【自己評価】では、到達したレベルに○をすること。
【達成目標】	1)実習先で要求される研修内容を履行できること。 2)実習先で見聞した実習内容を理解できること。 3)実習内容を実習報告書にまとめられること。 4)限られた時間内で実習内容を口頭発表できること。						<教員が記入する上での注意事項> 教員は、◎が付いているところだけを記入すること。
学 習 到 達 目 標							
ルーブリック評価	理想的な到達レベルの目安 (A)	標準的な到達レベルの目安 (B)	未到達レベルの目安 (C)	ルーブリック評価とは設定された到達目標の合否および到達レベル(到達度の程度)を示す基準です。			
評価到達目標項目1	実習先で要求される研修内容を正確・確実に履行できること。	実習先で要求される研修内容をほぼ確実に履行できること。	助言等があれば実習先で要求される研修内容を履行できること。	【自己評価】 A ・ B ・ C			
評価到達目標項目2	実習先で見聞した実習内容を完全に理解できること。	実習先で見聞した実習内容をある程度理解できること。	実習先で見聞した実習内容を実習を行う上で最低限理解できること。	【自己評価】 A ・ B ・ C			
評価到達目標項目3	実習内容を実習報告書に過不足無くわかりやすくまとめられること。	実習内容を実習報告書に過不足無くまとめられること。	実習内容についていくつか質問をすればわかるような実習報告書をまとめられること。	【自己評価】 A ・ B ・ C			
評価到達目標項目4	限られた時間内で実習内容を過不足無く、またわかりやすく口頭発表できること。	限られた時間内で実習内容を過不足無く口頭発表できること。	限られた時間内で実習内容についていくつか質問すればわかるような口頭発表ができること。	【自己評価】 A ・ B ・ C			
到 達 度 評 価 (%)							
評価方法 指標と評価割合	定期試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品実技	その他(実習先評価)	合計
総合評価割合			25	25		50	100
知識の基本的な理解			12.5	10		20	42.5
思考・推論・創造への適応力			12.5	5		20	37.5
汎用的技能							
態度・志向性(人間力)							
総合的な学習経験と創造的思考力				10		10	20
【教科書】	なし(実習先が提供する資料等)						
【参考資料】	なし(実習先が提供する資料等)						
【学習・教育目標・サブ目標との対応】(低学年)	—			【JABEE基準との対応】			
【学習・教育到達目標との対応】(高学年・専攻科)	(A) ~ (D)			(a)~(g)			

【授業内容】			【授業計画の説明】(実施状況の記入)
授 業 要 目	内 容	時 間	
1. 授業計画の説明	授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明。	1	
2. 実務実習	1)実習時期は夏季休業中とする。 2)実習先は、設計事務所や総合建設業等、建築に関連する企業や事務所とする。 3)実習期間は実質10日以上とする。	87	【理解の度合】(◎教員は授業の実施状況を記入)
3. 報告会	梗概とプレゼンテーションソフトを使った口頭発表会	2	
		合計時間	90
【備考】			【総合達成度】 総合評価の点数() 【評価の実施状況】(◎教員は総合評価を出した後に記入する。)